

第 13 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12～15 m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300 m、東西 800 m の範囲であったが、2002 年から 2004 年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140～160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008 年 2 月に遺跡範囲の変更増補を行った。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北側に墓石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側に地下式坑を検出した駒林新田前遺跡、500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002 年以降の試掘調査の結果、幅 5m、深さ 2m の大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

II 駒林遺跡第 16・17 地点

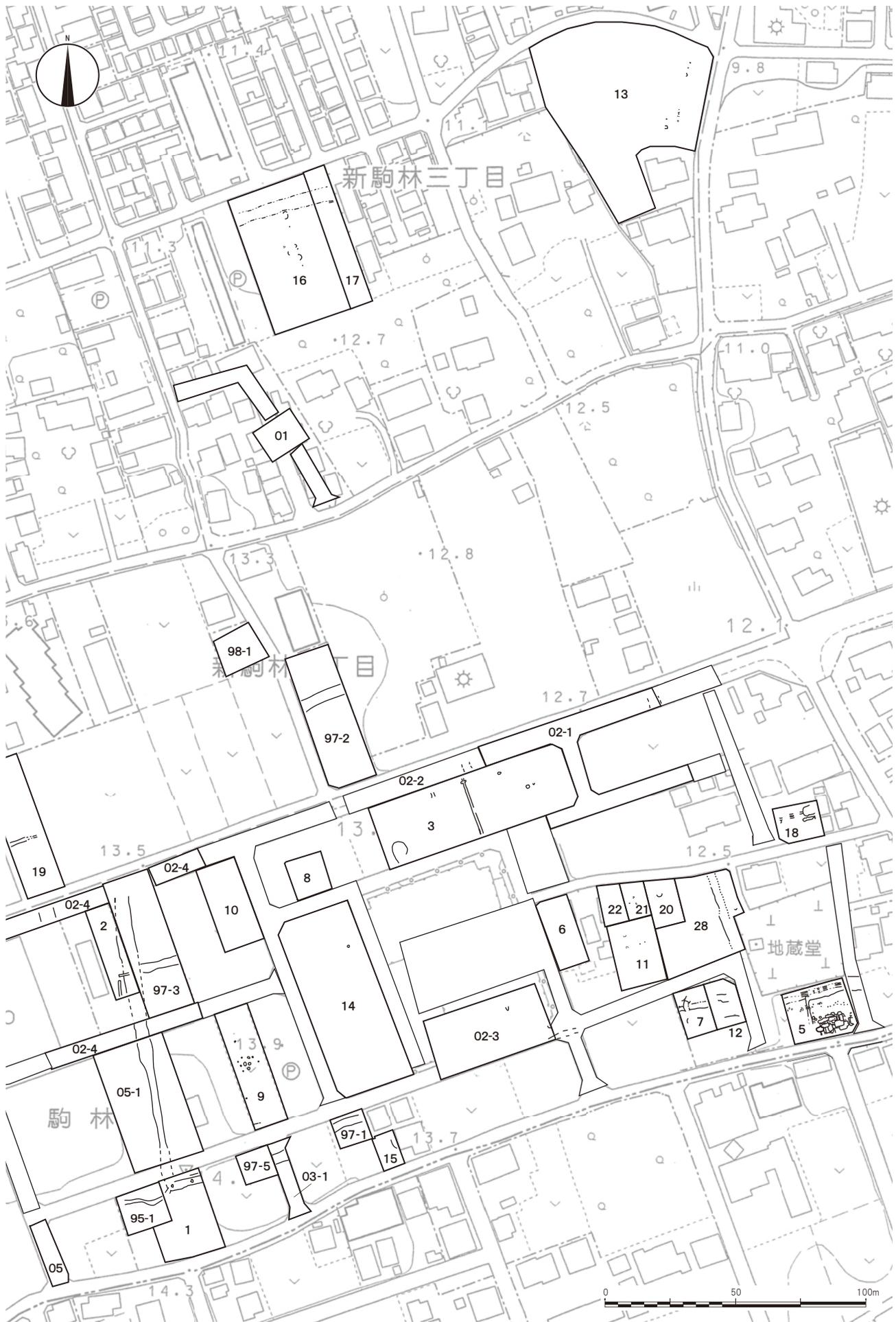
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2011 年 4 月 8 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。現状は更地となっていたが、以前は一続きの土地で、工場が建っていた。

また、再開発に当たり、東西で土地所有者が異なる



第 53 図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)



第54図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、遺構の存在を確認する試掘調査を実施した。

試掘調査は 2011 年 11 月 28 日～12 月 5 日に、幅約 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、地表面から深さ 30～50 cm で、中近世以降の溝跡を確認した。

試掘調査をもとに原因者と協議の結果、工事による遺跡への影響が避けられないことから、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は、12 月 12 日に溝を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

堀跡は調査区中央部に位置し、東西方向に延びる。断面は逆台形で、上幅 107～135 cm、下幅 21～27 cm、深さ 60.4 cm である。中近世以降。

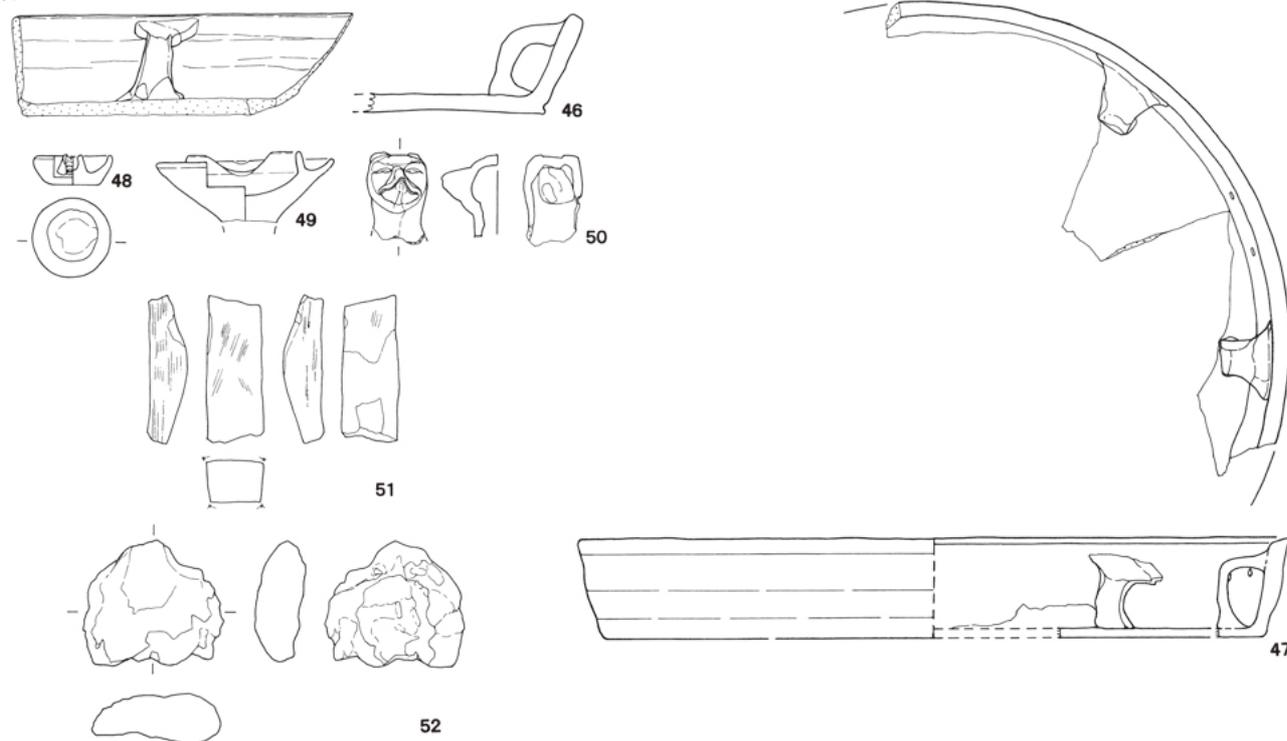
遺物は遺構外から縄文時代中期～後期の深鉢形土器の、無文の底部が出土している。(第 61 図 1)

V 駒林遺跡第 20・21・22 地点

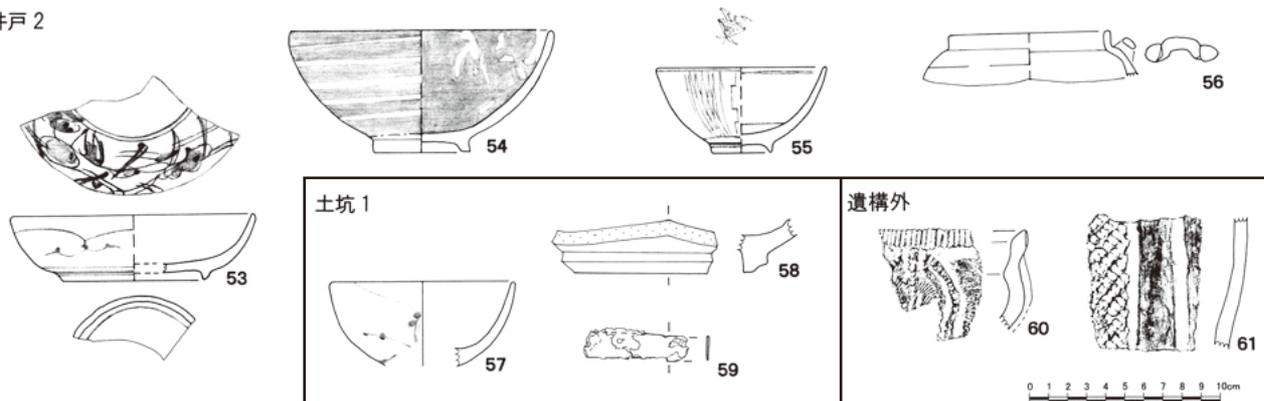
(1) 調査の概要

駒林遺跡第 20 地点の調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 10 日付け、同第 21 地点は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 20 日付け、同第 22 地点は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 2 月 28 日付けで「埋

井戸 1



井戸 2



第 59 図 駒林遺跡第 16 地点出土遺物② (1/4)

蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。3ヶ所の地点は、以前は同一の土地所有者であったが、開発にあたってはそれぞれの原因者より「埋蔵文化財事前協議書」と「発掘届」が提出された。各届け出の提出時期は異なるが、各原因者と協議の結果、一括して試掘調査を行った。

試掘調査は同年3月5日～8日に行った。幅約1～1.5mのトレンチを4本設定した。重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

第20地点では地山ローム層までの深さは約30cm、第21・22地点では約60cmであった。第21・22地

点では、調査区全体の地山ローム層が、約30cm掘削されていた。第21地点で時期不明のピット6基、第20・21地点で風倒木跡各1ヶ所を検出した。ピットの詳細は第27表のとおりである。写真撮影・全測図

第24表 駒林遺跡第16地点井戸・土坑・ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
井戸1	(円形)	202×97	142×69	81.1	
井戸2	(円形)	100×(23)	68×(15)	83.1	
土坑1	不明	162×(78)	102×(36)	74.1	
土坑2	楕円形	259×134	238×122	35.1	
P1	円形	55×47	23×16	35.2	
P2	方形	27×20	10×6	43.0	
P3	方形	25×23	15×6	15.0	
P4	円形	28×27	19×4	35.1	

第25表 駒林遺跡第16地点出土遺物観察表 寸法単位:cm () 付きは推定値

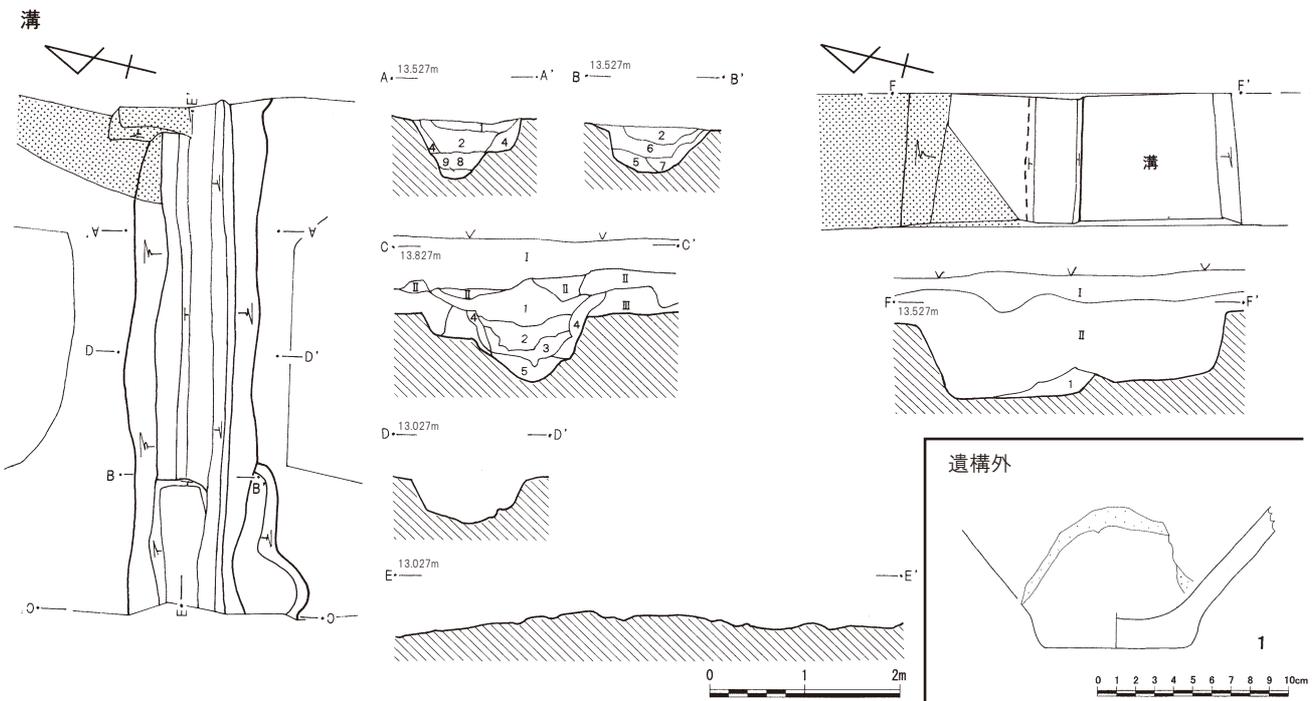
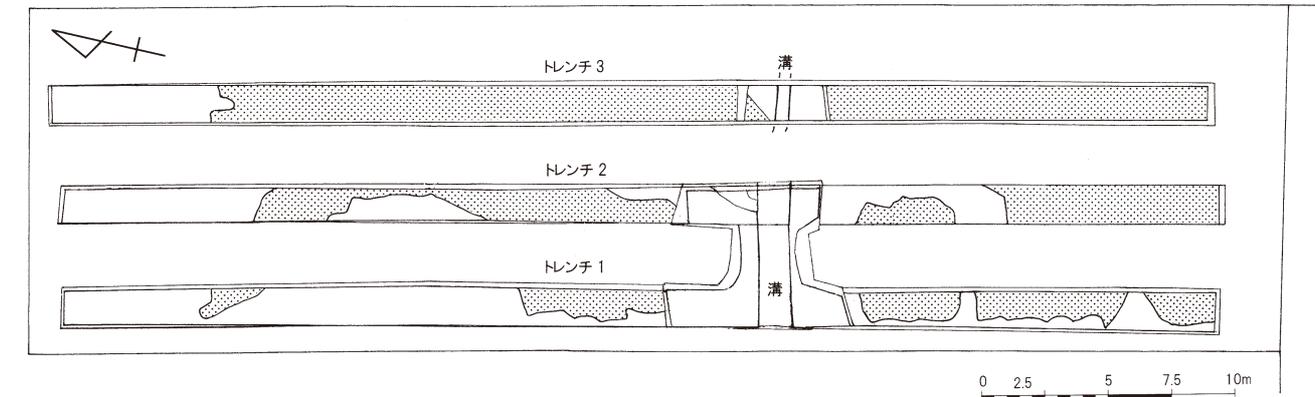
掲載No.	出土遺物名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1		磁器/小坏	-	2.5	-	轆轤成形/青白磁	肥前	1680～1780年代
2		磁器/小坏	(7.2)	3.0	3.8	轆轤成形/染付/海上遠島文	肥前	1690～1800年代
3		磁器/小坏	(7.0)	(3.0)	3.7	轆轤成形/染付/海島文	肥前	1690～1800年代
4		磁器/碗/厚手碗	-	(4.2)	-	轆轤成形/染付	肥前	1710～1800年代
5		磁器/碗/厚手碗	(8.6)	(3.7)	4.7	轆轤成形/染付/二重網目文	肥前	1700～1800年代
6		磁器/碗/小丸碗	(8.5)	3.5	5.3	轆轤成形/染付/虫巻文・口縁内二重圈線・見込圈線・宝珠文	肥前	1760～1810年代
7		磁器/碗/半筒碗	(6.8)	-	-	轆轤成形/染付/小松原文・口縁内四方禪文・見込圈線	肥前	1760～1810年代
8		磁器/碗/半筒碗	(7.2)	-	-	轆轤成形/染付/菊花文・口縁内二重圈線・見込圈線	肥前	1760～1810年代
9		磁器/碗/半筒碗	(7.2)	-	-	轆轤成形/染付/仕切菱割菊文・口縁内四方禪文・見込圈線	肥前	1760～1810年代
10		磁器/碗/半筒碗	(8.6)	-	-	轆轤成形/青磁染付/口縁内四方禪文	肥前	1760～1770年代
11		磁器/碗/丸碗	(12.6)	-	-	轆轤成形/染付/市松文	肥前	1780～1810年代
12		磁器/碗/丸碗	(11.6)	4.6	5.7	轆轤成形/染付/櫻格文	肥前	1780～1810年代
13		磁器/碗/丸碗	(11.6)	-	-	轆轤成形/染付/海島遠島文	肥前	1770～1810年代
14		磁器/碗/丸碗	(12.8)	(5.0)	5.8	轆轤成形/染付/割菊文	肥前	1780～1810年代
15		磁器/碗/丸碗	(11.2)	-	-	轆轤成形/染付/海浜風景文	肥前	1770～1810年代
16		磁器/碗/広東碗	(11.6)	-	-	轆轤成形/染付/草花文・口縁内二重圈線	肥前	1780～1830年代
17		磁器/碗/広東碗	-	-	-	轆轤成形/染付/草花文	肥前	1780～1830年代
18		磁器/碗/広東碗	(11.0)	6.2	5.7	轆轤成形/染付/海上遠島文/見込にハリ痕2箇所残存	肥前	1780～1830年代
19		磁器/碗/広東碗	-	6.4	-	轆轤成形/染付/見込遠島文	肥前	1780～1830年代
20		磁器/碗/広東碗	-	6.4	-	轆轤成形/染付	肥前	1780～1830年代
21		磁器/碗/広東碗	-	-	-	轆轤成形/染付/連弁文・口縁内二重圈線	瀬戸・美濃	1810～1830年代
22		磁器/碗/肥前端反碗	(11.0)	4.3	6.2	轆轤成形/染付/海浜風景文・見込帆船文	肥前	1830～1870年代
23		磁器/皿/厚手U字高台皿	(14.0)	(8.0)	4.0	轆轤成形/染付/柳文・外唐草文	肥前	1750～1810年代
24		磁器/皿/三角高台皿	(21.8)	(12.6)	3.6	轆轤成形/染付/紙垂三蓋松・見込松竹梅・外唐草文/底裏ハリ痕	肥前	1670年代以降
25		磁器/瓶	-	3.7	-	轆轤成形/白磁	肥前	1750～1810年代
26	井戸1	磁器/水滴	-	6.4	3.5	型押・貼付成形/染付/菟文	肥前	1750年代以降
27		陶器/小坏	(5.8)	3.3	3.7	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1780～1860年代
28		陶器/碗/柳茶碗	-	-	-	轆轤成形/透明釉/鉄絵柳文	瀬戸・美濃	1780～1820年代
29		陶器/碗/太白手半筒碗	-	3.6	-	轆轤成形/陶胎染付/菊花文・見込描五弁花文	瀬戸・美濃	1780～1860年代
30		陶器/碗/透明釉端反碗	-	-	-	轆轤成形/透明釉	京・信楽	1780～1860年代
31		陶器/碗/透明釉端反碗	(9.0)	3.1	5.2	轆轤成形/透明釉	京・信楽	1780～1860年代
32		陶器/仏飯器	-	4.4	-	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1780～1860年代
33		陶器/皿/志野皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660年代
34		陶器/皿/志野皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660年代
35		陶器/皿/志野織部皿	-	-	-	轆轤成形/長石釉/鉄絵	瀬戸・美濃	1600～1660年代
36		陶器/皿/青緑釉輪軸皿	(12.0)	4.0	3.4	轆轤成形/青緑釉/透明釉	肥前	1650～1730年代
37		陶器/皿/青緑釉輪軸皿	-	-	-	轆轤成形/青緑釉/透明釉	肥前	1650～1730年代
38		陶器/灯明皿	(13.0)	(6.6)	2.5	轆轤成形/鉄釉/見込に環状目痕/外面タル付着	瀬戸・美濃	1750～1820年代
39		陶器/片口	18.8	10.5	12.0	轆轤成形/灰釉/見込にビン痕5箇所	瀬戸・美濃	1800～1860年代
40		陶器/香炉	-	-	-	轆轤成形/鉄釉/足貼付	瀬戸・美濃	1700～1740年代
41		陶器/鉢	-	-	-	轆轤成形/鉄釉	瀬戸・美濃	1770～1860年代
42		陶器/鉢	-	11.0	-	轆轤成形/鉄釉/見込に目痕5箇所	瀬戸・美濃	1770～1860年代
43		陶器/徳利/べこかん徳利	-	-	-	轆轤成形/鉄釉	瀬戸・美濃	1780～1820年代
44		陶器/徳利/由右衛門徳利	-	(9.9)	-	轆轤成形/鉄泥	志戸呂	1690～1800年代
45		土器/鉢類	-	-	-	轆轤成形/足貼付	-	-
46		土器/焙烙	-	-	5.3	輪積成形/内耳貼付/外面に煤付着	-	近世
47		土器/焙烙	(37.4)	(34.7)	5.0	輪積成形/内耳貼付/補修用の穿孔2箇所	-	近世
48		土器/爨燗	4.2	2.1	1.6	轆轤成形/底部糸切痕/底面に煤付着	-	1750～1780年代
49		土器/灯明受皿	9.4	-	-	轆轤成形/内面銀彩/内面に煤付着	-	1700～1780年代
50		土製品/像(狐)	-	-	-	型合わせ成形	-	18c.前葉以降
51		石製品/砥石	-	3.0	2.2	石質:火成岩/重量:71.44g/両側面に櫛目状成形痕/色調:灰色	群馬県	-
52		金属製品/碗形鉄滓	6.6	7.3	2.7	重量:150.64g	-	-
53	井戸2	磁器/皿/厚手U字高台皿	(13.0)	(7.4)	3.5	轆轤成形/染付/松葉文	肥前	1750～1810年代
54		陶器/碗/刷毛目碗	(14.0)	5.1	6.5	轆轤成形/透明釉/白泥刷毛目文	瀬戸・美濃	1760～1830年代
55		磁器/碗/小広東碗	(9.0)	3.2	4.5	轆轤成形/染付/縦鎖線文・見込寿字花文	肥前	1770～1810年代
56		陶器/壺	(8.5)	-	-	轆轤成形/耳貼付/灰釉/耳1箇所残存	瀬戸・美濃	1750年代以降
57	土坑1	磁器/碗/厚手碗	(9.8)	-	-	轆轤成形/染付/梅枝文	肥前	1680～1740年代
58		陶器/鉢/刷毛目鉢	-	-	-	轆轤成形/白泥	肥前	1650～1710年代
59		金属製品(鉄)/刀子	-	(1.4)	(0.1)	重量:4.33g	-	-
60	トレンチ5	縄文土器/深鉢	-	-	0.8	S字状口縁部隆帯に刻目、頸部は刻目のある円形状隆帯脇に半截竹管状工具で刺突、区画内に押引文と細かい爪形文。	-	縄文時代中期初頭
61	ピット1	縄文土器/深鉢	-	-	0.7	地文R縄文・沈線の懸垂間文を幅広く磨り消す	-	縄文時代加曾利EⅢ式

作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

遺物は、第20地点から縄文土器片1点を採取した。縄文土器の胴部片で、半截竹管の並行沈線と連続刺突文を施し、胎土に金雲母を含む阿玉台式である。

第26表 駒林遺跡第18地点出土遺物観察表 寸法単位:cm ()付きは推定値

掲載No	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑2	陶器/皿/丸皿	(12.0)	-	-	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	1600~1760年代
2		陶器/皿	(10.5)	-	-	轆轤成形/灰釉	瀬戸・美濃	-
3		磁器/碗/厚手碗	-	-	-	轆轤成形/コンニャク印判染付/菊花文	肥前	1750~1770年代
4		磁器/皿	(10.6)	-	-	轆轤成形/染付	肥前	18c
5		瓦(低石に転用)	-	-	-	割れ口に研磨痕/攪乱から出土	-	-
6		金属製品(銅)/煙管吸口	(7.5)	1.1	0.9	吸口径5mm/重量:5.36g	-	-



- I. 黒色土 締り弱、粘性有、表土・耕作土、上層20cmが黒色土、下層20cmがロームブロック多量に含む、1トレの西壁には天地返し痕跡は見られない
- II. 黒色土 締り弱、粘性有、ロームブロック・粒等をほとんど含まない、包含層
- III. 暗褐色土 締り有、粘性有、地山ロームとの漸移層で一部にロームが混ざる
- 1. 黒色土 締り有、粘性有、シミ状に2cm以下黒褐色土を多く含む(III層の黒褐色土)1mm大ローム粒極少し含む
- 2. 黒色土 締り有、粘性有、1mm大ローム粒極少し含むのみ
- 3. 黒色土 締り有、粘性有、1・2層よりやや黒褐色で、2mm以下ローム粒・シミ状ローム・シミ状にIII層黒褐色土を少し含む
- 4. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒やや多く、シミ状に5cm以下ローム多く含む、ローム崩落土
- 5. 褐色土 締り有、粘性有、溝を掘った後に床面状に貼床(平らに)した層、ローム主体に1cm以下黒色土を少し含む、ややボソボソする
- 6. 黒褐色土 締り有、粘性有、1cm大ロームブロックやや多く、2mm以下ローム粒多く含む、西壁に見られない
- 7. 暗褐色土 締り有、粘性有、ほぼ6層に同じだがロームブロック・粒やや多く、全体に明るい
- 8. 黒褐色土 締り有、粘性有、1cm大ロームブロック・2mm以下ローム粒多く含む、7層とほぼ同じ
- 9. 黒褐色土 締り有、粘性有、6~8層よりロームブロック・粒少し含む、3層に類似する

第61図 駒林遺跡第19地点遺構配置図(1/300)、溝(1/80)、出土遺物(1/4)

VI 駒林遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2013年5月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は、2013年2月15日付けで、宅地造成に伴う「埋蔵文化財事前協議書」が、ふじみ野市教育委員会に提出され、2013年2月21日～25日に、幅約1～2mのトレンチ9本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から深さ50～70cmで、中近世以降の堀跡などを確認している。

今回は2012年度の試掘調査をもとに、原因者と協議の結果、工事による遺跡への影響が避けられない

め、原因者負担による本調査を実施した。

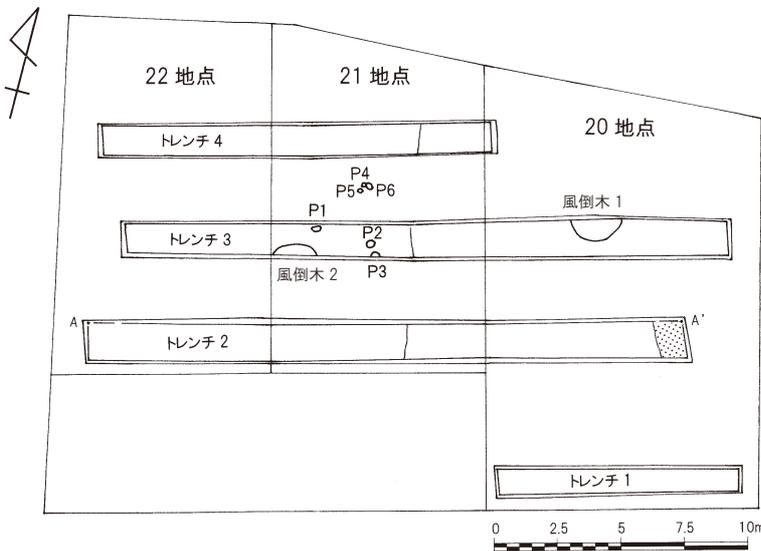
本調査は、5月21日～27日まで行い、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。試掘調査および本調査では、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

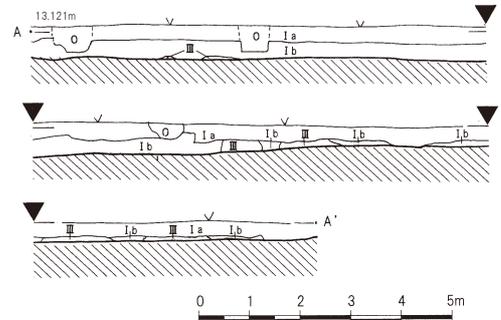
調査区は、土地境界の中央部のブロック塀を境に、

第27表 駒林遺跡第21地点ピット一覧表 (単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	(長方形)	38×24	12×6	44.3	
P2	方形	30×27	16×15	42.5	
P3	不明	35×(15)	12×7	28.6	
P4	方形	24×21	13×13	27.0	
P5	方形	25×20	13×10	28.0	
P6	長方形	21×19	11×4	24.2	

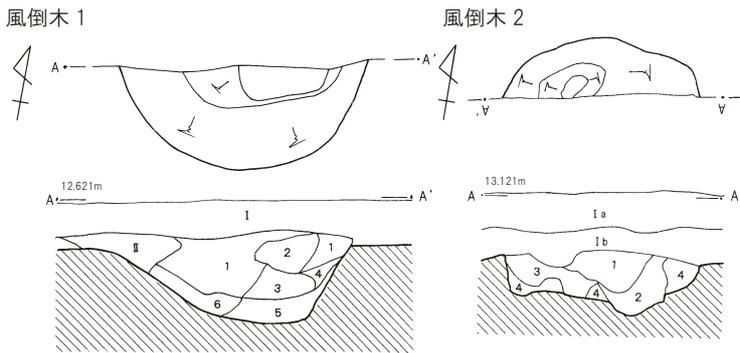


トレンチ 2



O. 攪乱

- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土主体の盛土及び攪乱、大方はローム粒(2mm以下)少しだけ含む
- I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、ソフトロームブロックを多く含む、耕作土
- III. 暗褐色土 締り強、粘性有、シミ状に黄褐色ソフトロームをやや多く含む、焼土・炭化物は含まない



風倒木 1

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体に茶褐色土多く含む、2mm以下ローム粒下層に多く含む、上層少ない
2. 暗褐色土 締り有、粘性有、ローム主体(ブロック・粒)にシミ状に黒褐色土少し含む、ローム主体
3. 暗褐色土 締り有、粘性有、2層より3cm大ロームブロック多く含む以外は2層に同じ、ローム主体
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、2層に同じ、やや黒褐色土多い
5. 黒褐色土+暗褐色土 締り有、粘性有、黒褐色土主体に2mm以下ローム粒多く、2cm以下ロームブロック下層に多く含む
6. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフトローム主体に上層で4cm大ロームブロック・1cm以下シミ状ローム少し含む

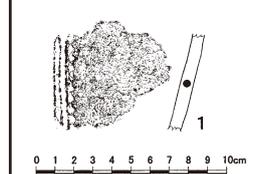
風倒木 2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、シミ状に黒褐色土・3mm以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土+暗褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒をやや多く含む、黒褐色土とソフトローム土が混ざり斑状を呈する
4. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、地山のローム土に比べ色調暗め

ピット

1. 黒色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む、動植物の攪乱によるローム土の混入が目立つ
2. 黄褐色土 締り強、粘性有、黒色土主体で2cm以下ソフト質ロームブロックを多く含む

20地点遺構外



第62図 駒林遺跡第20～22地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、風倒木・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)



駒林遺跡第 19 地点近景



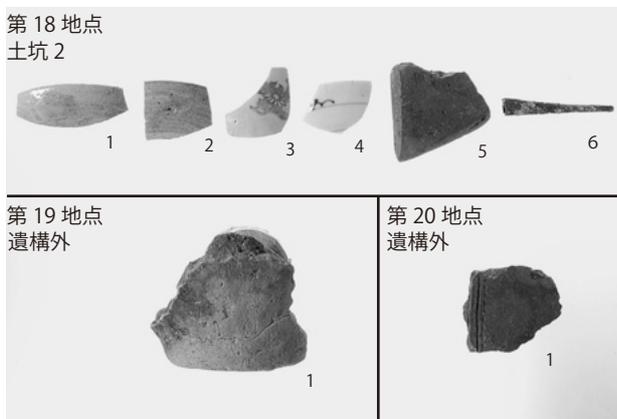
駒林遺跡第 19 地点調査風景



駒林遺跡第 19 地点溝



駒林遺跡第 19 地点溝



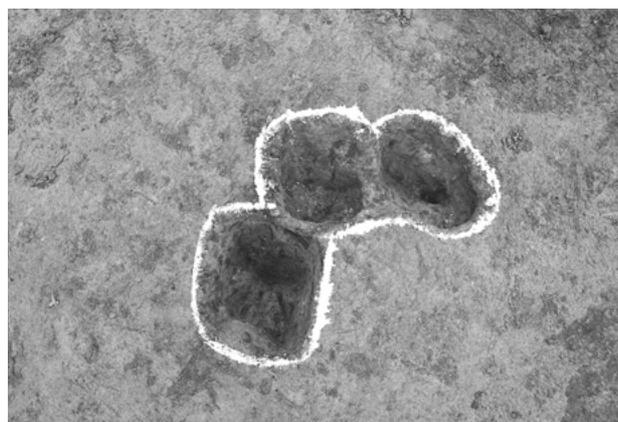
駒林遺跡第 18～20 地点出土遺物



駒林遺跡第 20～22 地点調査風景



駒林遺跡第 20～22 地点ピット 1～3



駒林遺跡第 20～22 地点ピット 4～6